

地球環境を守り  
 社会から信頼される  
 企業として発展するために  
 NEWクリモトはスタートします。



SEIZO YOKOUCHI

株式会社栗本鐵工所  
 代表取締役社長

横内 誠三

社会から信頼される企業に  
 生まれ変わるために

この度、鋼鉄製橋梁工事に係わる独占禁止法違反にてお客様、株主様ならびに関係各位に對しまして大変ご迷惑をおかけいたしましたことをここに深くお詫び申し上げます。

今後は信頼回復に全力を注ぎ、社会から信頼される企業に生まれ変わるため、CSR推進室の新設や既存のコンプライアンス委員会をより強化刷新するとともに、強力的に社内体制を整え、意識改革を押し進めてまいります。

環境について

地球温暖化問題は現在重大な局面を迎えています。京都議定書が発効されましたが、その前途は非常に厳しいと言わざるを得ません。

当社の加賀屋工場がこの度、年間2、351トンのCO<sub>2</sub>削減を掲げ、自主参加型国内排出量取引制度へ参加いたしました。また堺工場もCO<sub>2</sub>エネルギーシミュレーションの導入や熱風キユボラの空気予熱器更新、他の工場、事業所でも省エネ機器の導入や活動で大きな成果が出ており、日本経済新聞社が主催する環境経営度調査でも温暖化対策が進んでいる企業のひとつとして取り上げられています。今後さらなる削減に力を

注いでいく所存です。

また事業活動に於いて当社は、環境とエネルギーを重点項目として捉えております。CO<sub>2</sub>削減技術、未利用エネルギーの活用・新エネルギー創造を通して世界の温暖化対策、環境対策に貢献していきたいと考えています。

環境関連団体への支援に関しては、私共環境担当取締役時代に取り組んだオイスカ「子供の森」計画(植林活動)支援や日本初の環境常設展示場「グリーンエコプラザ」の継続とともに新たに淀川全域を核の回廊で結ぼうと発足した「淀川さくら街道コンソーシアム」にも支援メンバーとして参画いたしました。

社会的責任について

当社の社是の末尾に「人類の幸福に貢献しよう」とあります。今後もこの精神を大事にし、国内のライフラインの整備、環境保全、循環型社会の構築に貢献していくとともにボランティア活動のための制度を充実させる等、社員一人一人の良心を開花させる手助けをしたいと思っております。

新生クリモトへ

当社は、2009年に創業100周年を迎えます。

- 2004年6月、クリモトグループが進むべき方向性を定めたビジョンNEXT100を策定しました。
- 2010年に連結で売上高2010億円、営業利益率5%を数値目標とし、次の4項目を「なりたい姿」と捉え全社員に示し推進して参ります。
  - 世界のインフラ整備に貢献し海外比率向上
  - No.1、オンリーワンの技術、商品を生み出し成長を持続
  - 事業を組合せ、再編成などでグループの価値向上
  - 改革志向で攻めの風土

当社は内外ともに様々な要因を含め新生クリモトとして劇的な改革を成し遂げなければなりません。この「クリモト環境・社会報告書」もより企業の透明性を高め、皆様の信頼を得られる企業に生まれ変わるためにも改革を成し遂げ、早い段階で「クリモトCSR報告書」と発展、改称し、更なる情報開示を行っていききたいと考えております。

栗本鐵工所は変わり始めています。忌憚のないご意見、ご批評をお待ちしております。

■クリモトの歴史とこれから

